

平成16年度  
和歌山県立中学校適性検査の解答例  
及び作成の基本方針について

作成の基本方針

県立中学校の教育課程等の特色を踏まえ、その適性等をみるために、以下のア～エを作成の基本方針とする。


ア 小学校学習指導要領に基づき作成する。

イ 小学校で学習した基礎的、基本的な事柄をもとに、思考力、分析力、判断力、表現力等が身に付いているかどうかをみる。

ウ 日頃から身近な問題に疑問をもち、自ら解決しようとする意欲や課題解決能力が身に付いているかどうかをみる。

エ 科学的な見方や数学的な思考力が身に付いているかどうかをみる。

( 適性検査 の解答例 )

研究 1	課題 1	(例 1) I の位置に 20 g のおもりと 40 g のおもりを置く。 (例 2) F の位置に 80 g のおもり、I の位置に 40 g のおもりを置く。
	課題 2	(例) 支点からの距離と重さとの関係にふれながら説明できているものを正答とする。
研究 2	課題 1	(例) 三角形アイオと三角形アエオは、底辺(辺イ、辺Iオ)と高さがそれぞれ同じ長さになることから面積が同じになるなど、4 つの三角形の面積が等しいことが説明できているものを正答とする。
	課題 2	(例) 4 つに分けた 1 つの面積が 3 m <sup>2</sup> になるよう、区切られているものを正答とする。
研究 3	課題 1	(例) * 体のつくりが 3 つに分かれていて、足 6 本 (片側 3 本) が胸の部分から出ているものを正答とする。 
	課題 2	(例 1) 「チョウ、カブトムシ」と「トンボ、バッタ、カマキリ、セミ」 (理由) 成長が、「卵 幼虫 さなぎ 成虫のグループ」と「卵 幼虫 成虫のグループ」 (例 2) 「トンボ」と「チョウ、セミ、カブトムシ、バッタ、カマキリ」 (理由) 幼虫の時、「水中で育つグループ」と「陸地で育つグループ」など、グループ分けとその理由が正しいものを正答とする。
研究 4	課題 1	(例) 明るい所に水そうを置くのは、水草が光合成により二酸化酸素を取り入れ酸素を出しており、それがキンギョの呼吸にとって必要であること。直射日光を避けるのは、水温の上昇をおさえるためであること。など、説明書の内容に対し、適切に説明できているものを正答とする。
研究 5	課題 1	(例) 産業の発展などにより、化石燃料の消費が急速に増加したことなど、二酸化炭素の増加と深いかわりがあると思われることがらが書かれているものを正答とする。
	課題 2	(例) 化石燃料の消費をおさえる取組やクリーンエネルギーの開発、身のまわりのこととして、不必要な電気のスイッチを切るなど、課題に対して適切な考えが示されているものを正答とする。

(適性検査 の解答例)

研究 1	課題 1	(例 1) 青い立方体の見える場所を (図) 鉛筆でぬっているものを正 答とする。
	課題 2	13個 【考え方の説明】 (例) 青い立方体は4列あり、1列に4個あるから、 $4 \times 4 = 16$ 、 重なった立方体が3個あるから、 $16 - 3 = 13$ となり、全部 で13個になるなど、適切に説明されているものを正答とする。
研究 2	課題 1	【工夫されていること】 (例)・えんとつをつけている。 ・たきぎを入れる部分の下をあけている。 【工夫されている理由】 (例) 物を燃やすために必要な空気(酸素)の入り口と出口(えんとつ) をもうけることにより、空気を流れやすくしていることなど、 適切に説明されているものを正答とする。
	課題 2	【同じような例】 (例 1) 冬に、暖かい部屋に入った途端、メガネがくもった。 (例 2) 氷水を入れたコップを室内においておくと、コップの表面が くもった。 【理由】 (例) 空気中の水蒸気が冷やされて、結露が生じることが説明されて いるものを正答とする。
研究 3	課題 1	(例) B店、1,200 g、2,320 円、C店、2,800 g、5,000 円、合計 7,320 円。など、7,500 円より安い買い方をしており、式や途中の計 算などが適切に書かれているものを正答とする。
研究 4	課題 1	【注目したこと】 (例) 国内消費量が増えているのに、国内生産量が減っているのはな ぜだろう。 【調べたいこと】 (例 1) くだものの輸入量はどのように変化してきたのだろう。 (例 2) 国内で消費されるくだものの種類や量はどのように変化して きたのだろう。 (例 3) 生産が減ってきているくだものは何だろう。 など、注目したことを考えていくために、関連があると思われ る内容が示されているものを正答とする。
研究 5	課題 1	100 kg(パンダ)、60 kg(トラ)、40 kg(ゴリラ)、20 kg(ライオン) 10 kg(キツネ)

## 採点基準

### ( 適性検査 )

問 題		解 答 例
研究 1 (20 点)	課題 1 (10 点)	各 5 点 ( 正答のみに得点を与える )
	課題 2 (10 点)	支点からの棒の長さに着目し、距離と重さの関係が適切に説明されているか。 正しいもの (10 点)、論理的に正しいが説明不足のもの (7 点)、理論にふれているだけのもの (4 点)。(他は段階的に評価する。)
研究 2 (22 点)	課題 1 (10 点)	正しいもの(10 点)、論理的に正しいが説明不足のもの (6 点)。(他は段階的に評価する。)
	課題 2 (12 点)	各 4 点 ・線の曲がりやずれは許容する。
研究 3 (20 点)	課題 1 (8 点)	次の 2 点が満たされた絵を正答とする。 1 体が頭、胸、腹に分かれているもの (4 点)。 2 足が片側 3 本、胸から出ているもの (4 点)。 ・目や口、羽など他の部分が表示されていなくても、上記の 2 点が書かれていれば正答とする。 ・足の本数だけが正答のもの (2 点)。 (他は段階的に評価する。)
	課題 2 (12 点)	・グループ分けとその理由が正しいものを正答とする (各 6 点)。 ・理由が説明不足なもの (3 点)。 (他は段階的に評価する。)
研究 4 (14 点)	課題 1 (14 点)	次の 4 点が満たされたものを正答とする。 1 キンギョの呼吸に酸素が必要なこと (3 点)。 2 水草が二酸化炭素を吸収し、酸素を出していること (5 点)。 3 そのためには光が必要であること (3 点)。 4 水温の上昇にふれているもの (3 点)。
研究 5 (24 点)	課題 1 (10 点)	理由としてあげられた内容に基づいて、段階的に評価する。
	課題 2 (14 点)	・二酸化炭素を減らす取組として適切であるかどうかを判断基準として段階的に評価する。 ・国の取組のみが書かれていたり、個人の取組のみが書かれている場合も、それが適切であれば満点とする。

( 適性検査 )

研究 1 (20 点)	課題 1 (8 点)	・上面は 5 点、側面 ( 2 つの面 ) は 3 点。
	課題 2 (12 点)	・個数のみの正答 ( 4 点 ) ・正しいもの ( 8 点 ) ( 他は段階的に評価する。 )
研究 2 (24 点)	課題 1 (12 点)	・煙突とたきぎの下の部分 ( 各 3 点 ) ・空気 ( 酸素 ) の流れについてふれているもの ( 最高 6 点 ) ・入り口 ( 3 点 ) 出口 ( 3 点 ) で段階的に評価する。
	課題 2 (12 点)	・結露の例であれば各 3 点。 ・結露の説明がなされているもの ( 6 点 ) ( 他は段階的に評価する。 )
研究 3 (16 点)	課題 1 (16 点)	・ 7 5 0 0 円以内であれば、8 点満点とする。 ・途中の式については 8 点満点とし、解答との関連性をみながら段階的に評価する。
研究 4 (20 点)	課題 1 (20 点)	・注目したこと ( 5 点 ) と調べたいこと ( 各 5 点 ) ・注目したことについては、グラフとの整合性をふまえ、段階的に評価する。 ・調べたいことは、注目したこととの整合性をふまえ、段階的に評価する。
研究 5 (20 点)	課題 1 (20 点)	・各 4 点